

租税法研究Ⅳ

選択 2単位

西 聡

1. 授業の概要(ねらい)

租税は公共サービスの財源であるとともに、所得の再分配などの政策手段としての機能を有しています。学生の皆さんにとっては、消費税の負担に加え、いずれ所得税の納税者となり、また、起業、会社等に就職すれば、法人税ともかかわりを持つことになります。このように、税は国民の活動、生活に深くかかわっています。しかしながら、税を負担しながら、税の仕組みについて理解している方は多くありません。税法は専門的で技術的な規定が多く、毎年、改正されるため、難しいと感じることが原因の一つかと考えます。

税の細かい知識は必要はありません。必要に応じて、HPなどで確認すればよいと考えます。この授業では、我が国の主要な税目について、仕組み・概要を理解するとともに、制度趣旨・背景についても考えます。

2. 授業の到達目標

- ①法人税・消費税の仕組みを理解する。
- ②法人税・消費税に関する問題点についての探求力・分析力を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加姿勢(70%)及びレポート(30%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

金子宏 租税法(第24版) 弘文堂

参考文献

租税法判例百選(第6版) 有斐閣

ケースブック租税法(第5版) 弘文堂

5. 準備学修の内容

毎回の授業の該当部分について参考書を読んでおくこと。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 法人税総説
- 【第2回】 法人所得の意義と計算
- 【第3回】 益金の額の計算
- 【第4回】 損金の額の計算(売上原価・減価償却・貸倒損失)
- 【第5回】 損金の額の計算(役員給与・寄附金・交際費等・繰越欠損金)
- 【第6回】 法人税額の計算・法人税の申告
- 【第7回】 公益法人等関係税制・グループ法人税制
- 【第8回】 法人組織税制
- 【第9回】 同族会社と所得課税
- 【第10回】 国際課税と所得課税総説
- 【第11回】 移転価格税制
- 【第12回】 タックス・ヘイブン対策税制
- 【第13回】 消費税総説
- 【第14回】 レポート発表
- 【第15回】 オンライン授業(個別消費税)